

# 『ミカンバエ防除対策について』

## 防除対象品種

温州みかん、小みかん、ポンカン、キンカン、はるみ等

※産卵期(7月下～8月)の果皮の厚さが概ね4mm以下なら上記以外も要防除!!

## 防除のねらい・時期・使用薬剤

### ①基本は「モスピランSL液剤」2回散布(幼虫防除)!!

1回目: 7月下旬～8月上旬 **モスピランSL液剤 2,000倍**

2回目: 8月下旬～9月上旬 **モスピランSL液剤 2,000倍**

※収穫開始時期と混用薬剤の使用時期を考慮して散布時期を決める。

例) 11月下旬から収穫を開始する年末贈答品種(太田ポンカン等)に、使用時期90日のジマンダイセン(水)、ペンコゼブ(水)を混用する場合、2回目の散布時期は8月中旬。

### ②被害果の早期摘採・処分…健全果の着色開始前から実施

#### 【被害果の特徴】

- ・着色が早い
- ・へたの周りが赤い
- ・まだらな色づき
- ・落果しやすい



## 防除対策のポイント

- ① 山際・防風林際の日当たり環境改善！  
日当たりの悪い場所はミカンバエの生息に適しており、被害が発生しやすい。
- ② 樹高の切り下げ・枝抜きの実施！  
樹冠上部や内部まで薬液が届かなければ、十分な防除効果は得られない。
- ③ 樹の周囲をまわりながらムラなくていねいに散布！  
片側からの散布では反対側まで薬液が届かず、散布ムラが発生する。

## 自分で防除できない場合は…

- ① 知人に頼むか、市町や生産部会が設置している防除班・伐採班に委託
- ② 被害果は、水漏れしない厚手のビニール袋(肥料袋等)に密封して果実を腐らせるか土中に埋めて50cm以上覆土する。

ご不明な点は、市町担当課、最寄りの振興局生産流通部にお問い合わせを。